
妖の子育て日記

時間刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妖の子育て日記

【Nコード】

N 6 4 1 3 Z

【作者名】

時間刹那

【あらすじ】

とある山奥の屋敷。

城下で噂の「妖の巢食う屋敷」。

今日もそこから、赤子の大きな泣き声が山中に響き渡る！？

妖物語シリーズ第二弾！

赤子

「うわあああああああああああああん！！」

今日も赤子の大きな泣き声が屋敷中に響き渡る。

「うわあああああん！！つてえ、泣きたいのはこっちだボケ！！」

大きな男が赤子を投げつけようとする。

「つて、炎龍！！やめなさい！！」

一人の女に氷付けにされる炎龍。

「ごめんなさいね、こんな野蛮な奴ばっかで」

赤子をあやす女。

「野蛮で悪かったな！！」

「あら。もう、氷をとかしちゃったの？もう少しあそこで反省すればいいのに」

嫌味をこめて言う女。

「生憎だな。俺の性質は、『燃やす』つてのを忘れたか！！」

（うざいわね…こいつ）

心底うざそうなのを顔にだす女。

「だいたい…砂雪！お前、世話できんのなら最初からしやがれ！！」

「あら？してもいいわよつて前も言っただじゃない。ただ、そのかわりに家事を全部やってね」

「断る！！」

「そう、ならこの子の世話をして」
「ばっさりと切る砂雪。」

「そう言つてやるな、砂雪」

部屋の奥で静かに座す大きな白銀の髪の狼（？）。

「氷狼様、ならアナタがみてくださいな。私とて忙しいのですよ?」

「砂雪も知っておろう。ワシは前回その赤子に…」

「…泣かれていましたね、そういえば…」

「ばつが悪そうに視線を逸らす砂雪。」

「ならせめて、この子の名付け親になってくださいな」

「ワシにこの赤子の名をつける…と?」

「ええ」

氷狼の問いに微笑み返す砂雪。

「そうじゃな…」

真剣に考え込む氷狼。

「そつえば」

今まで黙っていた炎龍がおもむろに口を開く。

「なんじゃ?」

「城下で聞いたんだが…」

歯切れの悪い炎龍。

「珍しいわね、アナタが言葉を選んでいるなんて。槍でも降ってくるじゃないかしら」

茶化す砂雪に対して、真剣な眼差しの炎龍。

どうやらただことではないようだ。

肩をすくめ、おとなしく聞く体制に入る砂雪をみて話し始める炎龍。

「城下のはずれで一人の赤子が生まれたんだとよ」

（至って普通の話ね…）

「その赤子はなんでも、生まれた瞬間から胸のところに片翼の翼に鎖が巻きついた刺青…みたいなのがあつたんだとさ」

（片翼の翼…）

（鎖が巻き付いている…）

砂雪と氷狼が見る先にはあの赤子。

「それを気味悪がった親は、『妖への生贄にしよう』といって、く

妖の巢食つ屋敷>の前へと捨てたんだとさ…、めでたしめでたし…」

「…な？あいつの胸んとこにあるのと」

「同じみたいね…」

炎龍の言葉を砂雪が引き継ぐ。

「だう？」

振り返る赤子。

その胸には、炎龍の話にあった片翼の翼に鎖が巻きついた刺青。

「…まあ、俺からの話はこんだけだ」

そう言い残すと、炎龍は部屋をあとにした。

「さて…氷狼様…。この子に名前をつけてあげてください。幸せがくるような…そんな名前を…」

「そうじゃな…」

より一層真剣に考え込む氷狼。

「藍夢^{あいむ}…でどうじゃろうか？」

「藍夢…ですか？」

頷く氷狼。

「この藍色の空のように果てなく続く夢のような日々を送ってほしい…そんな意をこめて…」

「藍夢…いい名前ですね。」

さあ、藍夢。今からアナ

タは藍夢よ」

砂雪の言葉に元気な返事を返す藍夢。

「だう！！」

こうして、妖たちによる子育ての生活が始まった…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6413z/>

妖の子育て日記

2011年12月21日17時51分発行